アメリカ「Institutional Investor誌」が選ぶ 「日本のベストIRカンパニーランキング」 「Most Honored Company(最優秀企業)」に選出

株式会社丸井グループ　　2022年04月28日

株式会社丸井グループ（本社：東京都中野区､代表取締役社長：青井 浩）は、このたび、世界的に有名なアメリカの金融専門誌「Institutional Investor誌」が発表した「The 2022 All-Japan Executive Team rankings（日本のベストIRカンパニーランキング）」の小売セクターにおいて、5部門すべてで第1位を獲得し、「Most Honored Company(最優秀企業)」に選出されました。

■ 「日本のベストＩＲカンパニーランキング」とは

米国金融専門誌「Institutional Investor 誌」が日本の上場企業を対象に、世界の機関投資家・証券アナリストの 投票によりランキングをするものです。今年は510名210 機関が投票し、26部門499社をノミネートしました。

今回、当社グループは小売セクターにおいて「Best CEO」で代表取締役社長 青井 浩が、「Best CFO」で取締役常務　執行役員 加藤 浩嗣がそれぞれ第１位に選出されました。

また、「Best ESG」「Best IR Professional」「Best IR Program」でも第１位に選出され、5部門すべてで第1位を獲得し、最も栄誉ある「Most Honored Company(最優秀企業)」に選ばれました。

Institutional Investor
2022 JAPAN EXECUTIVE TEAM
MOST HONORED COMPANY
MARUI

Honored Company	第1位
Best CEO	第1位
Best CFO	第1位
Best ESG	第1位
Best IR Professional	第1位
Best IR Program	第1位

※ランキングについて詳しくはこちら

「Institutional Investor」ホームページ https://www.institutionalinvestor.com/

■ 丸井グループのIR活動について

コロナ禍においても、セルサイド、バイサイド双方への情報提供を積極的に行い、21年度のミーティングは約320件を数えます。さまざまな手法で当社グループの活動について開示し、関係構築に努めております。

「MARUI IR DAY」
投資家・アナリストの皆さま向けに、中期経営計画の浸透や非財務情報の共有、当社グループのビジョンの共有などを目的とした「MARUI IR DAY」を開催しています。事業会社の社長や、担当社員、社外取締役など、幅広いメンバーが説明や対話をおこない、投資家・アナリストの皆さまからは、より深く当社を理解できる場として好評をいただいております。

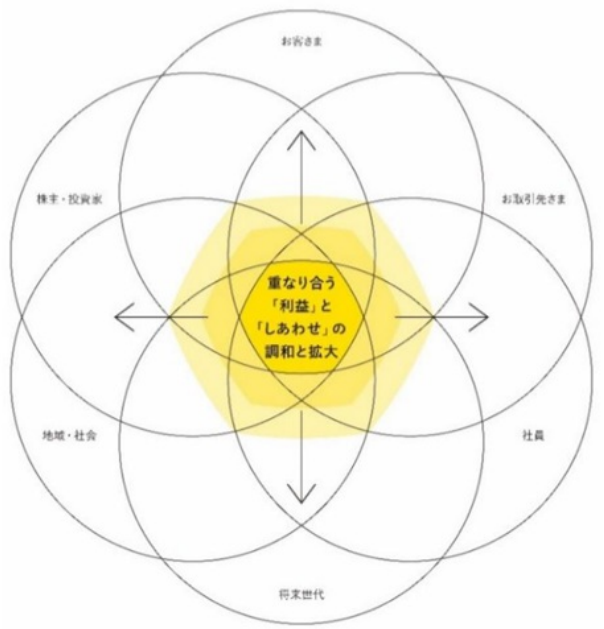
「エンゲージメント対話」

当社グループのビジネスモデルやサステナビリティなどの、企業価値向上につながる中長期テーマを設定し、投資家・アナリストの皆さまとの相互理解をすすめるスモールミーティングの場として「エンゲージメント対話」を年間10件程度開催しています。

“小売だけでなく幅広い業種の投資家・アナリストの皆さま”にご参加いただき、“長期的な視点での建設的な対話”をおこなっています。

■ **丸井グループが進める「ステークホルダー経営」**

当社グループは、お客さまをはじめ、株主・投資家の皆さま、お取引先さま、地域・社会、社員に、将来世代を加えた6つのステークホルダーの「利益としあわせの調和」を企業価値と定義し、ステークホルダーとともにその拡大をめざす「ステークホルダー経営」を進めています。小売、フィンテックに未来投資（スタート　アップ企業や新規事業への投資）を加えた、共創を基盤とした三位一体のビジネスモデルで、さらなる企業 価値の拡大をめざしています。



※当社のめざす「ステークホルダー経営」「丸井グループ ビジョン2050」についてはこちら

「共創経営レポート2021(日本語版)」 https://www.0101maruigroup.co.jp/ir/lib/i-report.html

「VISION BOOK 2050(日本語版)」

https://www.0101maruigroup.co.jp/sustainability/lib/s-report.html